

1. 競技について

- (1) 本競技会は 2020 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は男女別 8 レーンで行う。
- (3) 本競技会ではバックストロークレッジを使用する。
- (4) 競技はオーバーザトップ方式とする。泳ぎ終えた選手は次組スタート後、自レーンより退水すること。但し、自由形以外の 50m 種目、背泳ぎ、リレー種目は泳ぎ終えた選手から自レーンより退水すること。50m 自由形の退水方法は(5)を参照のこと。
- (5) 50m 自由形はスタート側から競技を行う。泳ぎ終えた選手は折返監察員の指示により両端(0, 9)レーンへ移動してスタート側まで泳いで戻ること。
自由形以外の 50m 種目はターン側から競技を行う。泳ぎ終えた選手から自レーンより退水すること。
- (6) プールの水深は以下の通りとする。
メインプール：競技開始前を 1.4m, 開始後(昼休みを含む)を 2.0m。
- (7) プログラム掲載の商標規定を遵守すること。
- (8) FINA マークが剥離している水着を着用する場合は、プログラム付属の FINA マーク剥離届を必ず事前に記録室に提出し、審判長の許可をもらうこと。なお提出の際、選出している学連委員が同伴すること。
- (9) 競技を棄権する場合は、プログラム付属の棄権届出用紙に必要事項を記入し、当該競技予定開始時間の 1 時間前までに招集所に提出すること。時間内に提出しなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。
- (10) エントリー締切日から大会当日までの間に、所属大学から対外試合禁止の通告がなされた場合、各チームの監督または部長が当支部事務局：<secretariat@swim-kansai.com>へメールでその旨を報告すれば、申込金は請求しない。
- (11) 製本したプログラムは販売しない。2 月 23 日(火)に当支部 HP に掲載する PDF データを閲覧すること。
なお、(9)により申込数が大幅に減少する場合は公開後に再度班組を行い、当支部 HP に掲載する。
- (12) 当日オープンに関しては、本稿 3.を参照のこと。
- (13) 本競技会は、公式掲示板を設置しない。競技結果は随時、当支部 HP に掲載する。
- (14) 本競技会は、各種目上位 8 名までの選手に賞状を贈る。賞状は大会終了後、AD カード郵送先と同じ住所に郵送する。変更を希望する場合は大会開催中に本部へ申し出ること。

2. リレー種目について

- (1) リレーオーダー用紙の提出締切時間は表 1 のとおりとする。提出締切時間を過ぎた後は一切受け付けない。
- (2) 一度提出したリレーオーダーは、提出締切時間内であっても変更を受け付けない。
- (3) リレーに出場できる選手は、リレーメンバー申請書に記載の選手と、当該種目と同じ時間区分の個人種目に出場する選手のみとする。
- (4) リレーオーダーの不正防止のため、リレー種目は招集所で本人確認を行う。AD カードに加えて顔写真入の学生証もしくは免許証等の公的証明書を持参すること。

表 1：リレーオーダー提出締切時間

1 日目午前	男女 4×100m フリーリレー	9 : 30
1 日目午後	女子 4×50m フリーリレー	14 : 30
	男女 4×200m フリーリレー	
2 日目午前	男女 4×100m メドレーリレー	9 : 30

3. 当日オープンについて

- (1) 当日オープンは申込締切時点でリレー要員を含めて1種目以上に申し込んだ選手のみ受け付ける。
- (2) 参加を希望する選手は2月26日(金)正午までに<info.kcsa@gmail.com>に連絡すること。期限以降の申込は一切受け付けない。
- (3) 申込金は大会1日目(2月27日)の9:15までに記録室に持参すること。間に合わない場合は、必ず事前に理由も併せて<info.kcsa@gmail.com>に連絡すること。
- (4) 当日オープン参加のためにADカードの記載時間区分以外で入館する際は、ADカードと入館許可証(当支部よりメールで送付、印刷不要)を提示し、渡されるシールをADカードに貼り付けること。

4. 会場内コントロールについて

- (1) 本競技会では、ADカードを発行する。ADカードを所持していない者は一切入館を認めない。
- (2) 全ての入場者に対して毎日、ADカードの提示と健康観察票の提出を義務付ける。
健康観察票は入場日ごとに提出できるよう、必要に応じて複数枚を用意すること。
- (3) ADカードは大会期間中、常に首から下げて携帯し、貸し借りは絶対に行わないこと。
- (4) 選手は、出場区分の時間以外の入館はできない。また、自身のレース終了後は速やかに退館すること。
- (5) チーム関係者、マネージャーは自校の選手出場日に終日入館を認めるが、更衣室への入場は禁止する。
- (6) 入館可能時間は、アルファベット[A-D]または数字[1-2]で分けられ、表2のとおりとする。
- (7) ADカードは2日間を通じて入場者1名に対して1枚発行する。2日間を通じた最終退館時にプラスチックケースから取り出し、受付へ返却すること。
- (8) 一時退館を希望する場合は、受付に申し出て外出証をもらい、再入館する際に提示すること。
- (9) ADカードを入れるプラスチックケースは12月の競技会で使用したケースを持参すること。所持していない場合は入館前の整列時に配布する。

表2：アルファベットおよび数字毎の入館可能時刻

ADカード	入館可能時刻 (アップ終了時刻)		該当種目
A	1日目 午前	8:30 (10:00)	50m自由形 女子800m/男子1500m自由形 400m個人メドレー 100mバタフライ 4×100mフリーリレー
B	1日目 午後	13:00 (14:30)	50m平泳ぎ 200m自由形 100m背泳ぎ 200m平泳ぎ 4×50m/4×200mフリーリレー
C	2日目 午前	8:30 (10:00)	4×100mメドレーリレー 400m自由形 200m個人メドレー 50m背泳ぎ 200mバタフライ 女子100m自由形
D	2日目 午後	12:30 (14:00)	男子100m自由形 100m平泳ぎ 50mバタフライ 200m背泳ぎ
1	1日目終日 (8:30～)		
2	2日目終日 (8:30～)		

5. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための遵守事項

国や自治体、主催者や施設管理者が定める措置や指示に従わず安全を確保できないと判断した場合、その内容によって参加者に対する本注意事項の厳格化、当該者および所属する学校の出場取り消し、競技会を中止するなどの措置を取る。

出場選手の他、当日入館するチーム関係者全員が正確に把握し、行動すること。

また、館内の動線に関して、解説入りの会場図を本要項最終頁に添付している。併せて確認しておくこと。

5-1.大会の実施について

- (1) 所属学校が許可しない場合は、大会への参加を認めない。
- (2) マスクは各自持参し、常に着用すること。また、紛失などに備えて予備のマスクを持参すること。
- (3) 参加者・関係者等との距離を常に十分確保すること。メガホンなどの応援用具、鳴り物の持ち込みは一切禁止とする。また、声を出しての応援は禁止する。
- (4) 大会期間中および終了後の帰宅途中において、懇親会等の食事を伴う会合は控えること。
- (5) 大会期間中に大会が打ち切りとなった場合は、実施済み種目分の申込金のみを徴収する。
- (6) 中止や打ち切りとなった場合でも、大会参加に伴い発生した各種費用は当支部で負担しない。
- (7) 大会期間中、大会参加者の感染が発生した場合は、その時点で大会を打ち切る。

5-2.入館について

- (1) 入館前14日間において、以下の事項に該当する者は来場を禁止する。出場選手に該当する者がいた場合は、本稿1.(9)の手順に従い棄権手続きを行うこと。
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ③ だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)
 - ④ 嗅覚や味覚の異常
 - ⑤ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方との濃厚接触がある場合
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑧ 過去14日以内に、政府から入国制限・入国後の監察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) マスクを着用し、ADカードは首から下げて、健康観察票を手に持っておく。手指のアルコール消毒に支障をきたさないよう、手持ちの荷物は最小限に止めること。
- (3) 当日オープンの出場者は本稿3.(4)を参照のこと。

5-3.退館について

- (1) レース終了後は速やかに退館すること。退館後にエントランス等で集まることは禁止する。
- (2) ADカードは2日間を通じた最終退館時にケースから取り出し、カード台紙を受付へ返却すること。
- (3) 一時退館を希望する場合は本稿4.(8)を参照のこと。
- (4) 午前競技のみの出場で退館する場合は、ADカードに記載された個人番号を受付に伝えること。

<午前競技終了後～午後競技開始前に退館する場合>

午後入場選手との交錯しないように、9レーン側観客席の通路から電光掲示板下を經由して0レーン側観客席の通路を通り、受付へ向かう。

5-4.更衣室の使用について

- (1) 更衣室は更衣の目的にのみ使用できる。控え場所やストレッチスペースとしての使用は禁止する。
- (2) 更衣室のロッカーは一切使用できない。荷物を入れるビニール袋を必ず持参すること。
- (3) 泳ぎ終えて呼吸が落ち着くまでの間を除き、マスクを着用しておくこと。

5-5.ウォーミングアップについて

- (1) プールサイドに出るまでマスクを着用しておくこと。
- (2) 自身の荷物は持参した袋にまとめること。なお、荷物台としてプールサイドに赤フロアを設置する。荷物台は次亜塩素酸を用いて定期的に消毒するが、色落ちなどが生じても当支部は責任を負わない。
- (3) プール内でのフィン、パドル、プルブイ、シュノーケル等の道具の使用は禁止する。
- (4) ダッシュレーンを利用する際は、前後の間隔をあけて整列すること。
- (5) 口で吹くホイッスルの使用は一切禁止する。また、競技開始前と昼休みの公式スタート練習時間外は、電子ホイッスルの使用を許可する。

5-6.招集について

- (1) 招集開始は、場内通告および電光掲示板で案内する。案内があるまでは招集所の前で待機しないこと。
- (2) 招集員にADカードを提示し、商標とFINAマークの確認、手指消毒を行ってから招集所に入ること。
- (3) 招集所の中においても原則としてマスクを着用すること。但し、キャップ着用時などレース準備のために一時的に外してもよい。

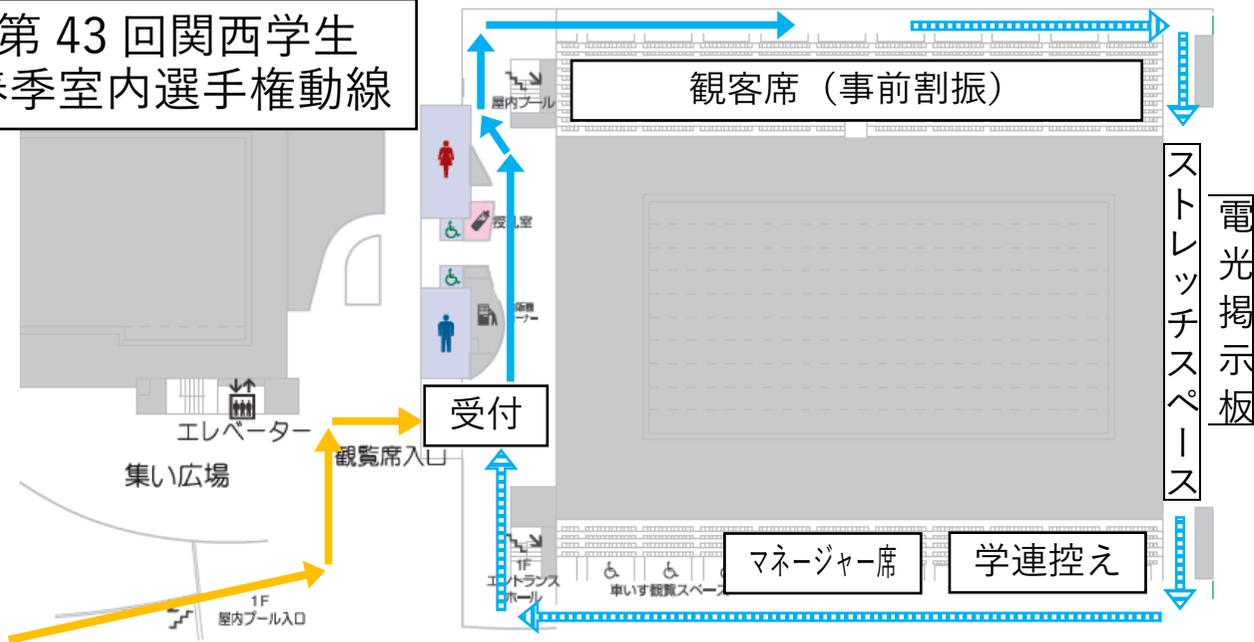
5-7.レース前後について

- (1) 招集員の指示でレーンに入り、衣服・マスク・ADカード等を全てビニール袋に入れ、スタート台後方の赤台に置く。なお、マスクは衣服のポケット等、落とさないところに入れておくこと。
なお、自由形以外の50m種目はターン側から競技を行うため、スタート後に競技役員が荷物をスタート側に移動させる。レーン入場後は自レーンに置かれた脱衣カゴに荷物をまとめること。
- (2) レース終了後は自身の荷物を取り、呼吸が落ち着いた後はマスクを着用すること。更衣室への入退場は9レーン側の出入口を使用すること。

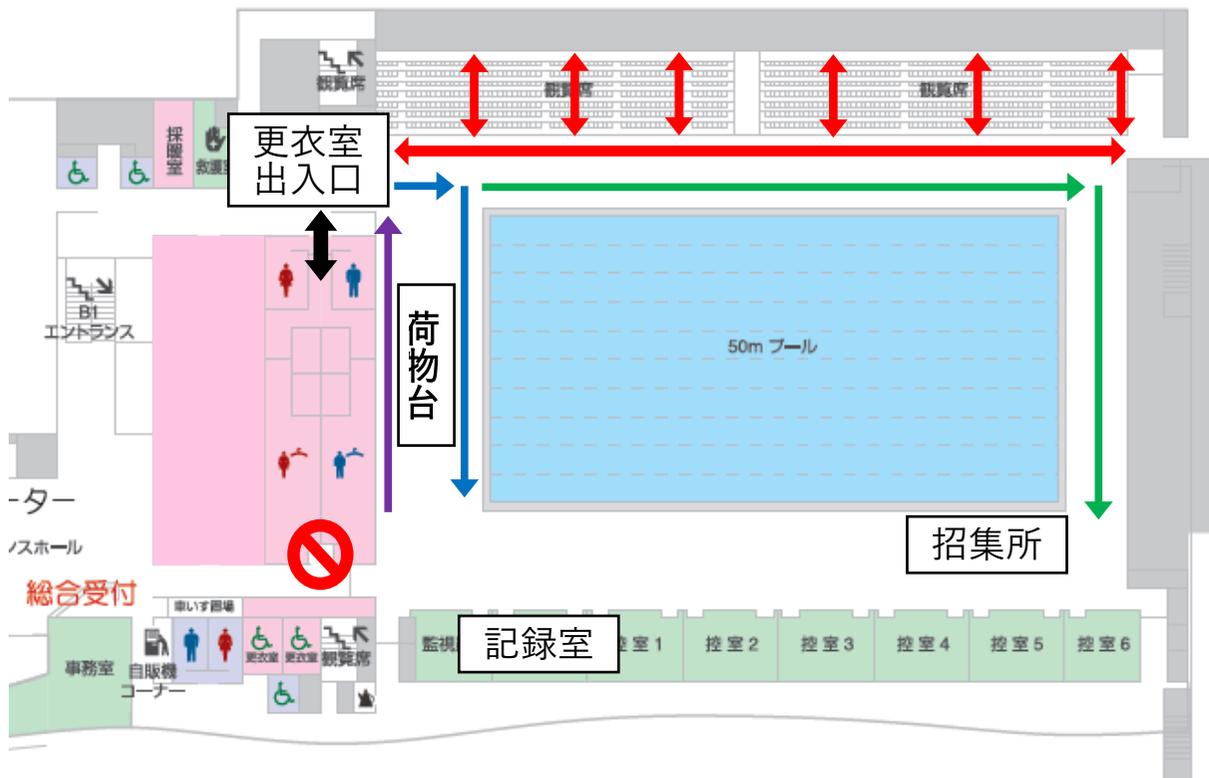
6. その他

- (1) 貴重品は厳重に管理すること。会場内で盗難が発生した場合にも当支部は責任を負わない。
- (2) 館内ではプールサイドを含めてインシューズが使用できる。
- (3) 館内の控え場所は、参加校ごとに割り当てた観客席のみ使用できる。なお、ストレッチスペースを電光掲示板下の通路に設置する。使用する際は以下の事項を遵守すること。
 - ① 1区画につき、同時に使用できるのは1人とする。譲り合って使用すること。
 - ② マットなどの用具は使用する選手自身が持参し、終了したら全て持ち帰ること。
 - ③ マットを常設することや、チーム内での道具の使い回しは禁止する。
 - ④ 指示に従わない場合、当該チームの使用を禁ずる、または開放を全面中止する。
- (4) 会場内にゴミ箱は設置しない。ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。
- (5) 自家用車での来場は禁止する。公共交通機関を利用すること。
- (6) 競技終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された場合は、当支部事務局：
<secretariat@swim-kansai.com>へ速やかに報告すること。

第43回関西学生 春季室内選手権動線



- 館外動線：広場から階段に向かって並ぶ
- 館内動線：受付を通過して観客席に向かう動線
- 館内動線②：昼休みに退館するときの動線
- 招集動線：更衣室から招集所に向かう動線
- 入場動線：ウォーミングアップに向かう動線
- 退場動線：ウォーミングアップ終了後、競技終了後に更衣室に向かう動線
- 更衣室動線：更衣室と観客席を結ぶ動線



【注意事項】

- ・常にマスク等を着用すること。
- ・ADカードは常に首から下げること。
- ・入館には健康観察表の提出が必要である。
事前に支部HPに掲載された書類を各自印刷、必要事項を記入して持参すること。
- ・参加校ごとに割り振られた場所および、ストレッチスペース以外の場所を使用しないこと。
- ・荷物は更衣室に置かないこと。
- ・貴重品は厳重に管理すること。
- ・ゴミは各自で持ち帰ること。